

# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.12.01

No.065



2024年11月25日開催

八地申  
第7号

## 2024年12月武蔵野線

詳報①

団体交渉

## 運用改訂に関する緊急申し入れ

1. トイレ・食事時間など人間として必要な時間を確保するために、乗り継ぎ時間を最低40分は確保すること。

回答：乗務員勤務制度の趣旨を踏まえ、多様な働き方と効率性の実現を勘案しつつ、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>● 業務量の平準化のため、特に乗務中断時間にこだわったということでしょうか？</li><li>● 「40分」を会社はどう受け止める？ 中断時間はあくまでも本区に戻れということか？</li><li>● ゆとりを持って食事が摂れない行路がある。次期ダイヤ改正時の行路に改善を求む。</li><li>● 現行の行路では短時間でリフレッシュすることは不可能だ。本区に戻るにも戻れない社員が今も多くいる。この現実をどう受け止める？</li><li>● ロングラン行路が解消しないのでは、休憩がまともに取れないではないか！</li><li>● どのあたりが解消できた？</li><li>● 支社は現場の声をどれくらい把握しているのか？</li><li>● 「青本」作成当時とは職場環境は異なっており、外食が主の現在では社食利用を想定した中断時間のままはそぐわない。社食はほとんど廃止された。何でもこれに基づくのではなく環境の変化に応じた行路作成を。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 全ての行路のバランスを見て設定しているが、どうしても行路によって出っ張り、引っ込みのアンバランスが生じてしまう。</li><li>➤ あれば望ましいが、どうしてもアンバランスが出てしまう。本区に戻れるように行路を組んでいる。</li><li>➤ <b>意見は承った</b>が、「青本」※に則って行路を作成している。問題があればPT支援者や管理者に申し出を。</li><li>➤ 不安なく乗務したいのは理解する。トイレに行きたいならためらうことなく指令に一報してほしい。</li><li>➤ <b>意見は受け止める</b>が、次期ダイヤ改正時の行路が現行と同じような短時間の乗務中断とならないよう、努力していく。</li><li>➤ <b>具体的な部分はわかりかねる</b>。中断時間は運転士22~23分、車掌20分のところ、それぞれ28分と30分に改善する。</li><li>➤ 近傍とは言えない本区、管理者の態度は把握している。<b>組合側指摘をオウム返し。本当に把握していたのか？</b></li><li>➤ <b>意見は承る</b>。どうしても行路にアンバランスが生じてしまうが、<b>食事が取れる時間は確保するようにしていく</b>。</li></ul>

確認

確認

※「青本」：乗務員割交番作成規程のこと。冊子が青いことからついた名称。

実態に基づいた声に支社が主体的に対応しないで、  
問題の解決が図れるのか？

つづく

# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.12.01

No.066



2024年11月25日開催

八地申  
第7号

## 2024年12月武蔵野線

詳報②

団体交渉

## 運用改訂に関する緊急申し入れ

2. 輸送混乱時を含めた行路内における食事時間・休養時間など人間として必要な時間を確保するために、東所沢駅に駅詰所を設置すること。

回答：東所沢駅構内に乗務員詰所を整備する考えはない。なお、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>乗務員詰所をなくした結果は？</li><li>詰所を復活させる考えはあるのか？</li><li>駅事務室を待機場所として利用することはできないのか？ 駅事務室に入りづらいから実績が少ないのでは？</li><li>中断時間40分のうち、実質的に十数分の食事時間しかない。それでも十分な時間だと？</li><li>駅に詰所があれば乗務労働の安全に資すると思うが、それでも詰所は整備しないのか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>食事が摂れない、十分な休憩が取れないといった声がある。<u>だが本区へ戻る徒歩時分は付与している</u>ので、<u>理解してほしい。</u></li><li><b>ない。 対立</b></li><li>基本は本区に戻ること。<u>輸送混乱時は駅に一報の上で駅事務室に入室可能。</u> <b>確認</b> 区が発足してから4件の利用実績があり、申し出があれば受け入れてくれる。</li><li><b>それは人それぞれだ。 対立</b></li><li><u>意見は承った</u>が、基本は本区に戻ってほしい。難しい場合は当直に一報を。</li></ul>

3. 乗り継ぎ時間僅少・ロングランによるトイレの不安を解消するために、吉川美南駅のホーム上にトイレを設置すること。また、南船橋駅のホーム上トイレを和式から洋式にし、男女別にすること。西船橋駅北部庁舎内のトイレと西船橋駅9・10番ホーム詰所内のトイレを今後も継続使用できるようにすること。

回答：乗務員用トイレの設置等については、引き続き検討していく。また、八王子支社管外の箇所については、必要に応じて関係支社へ要請していく考えである。なお、西船橋駅9・10番ホーム詰所は廃止となる

組合	会社 <b>対立</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>設置を検討している場所は？</li><li>北部庁舎のトイレは使えないのか？</li><li>緊急時に北部庁舎のトイレはスムーズに使用できるのか？</li><li>職場では「北部庁舎のトイレは使えない」と言われたが、回答は違う。なぜだ？</li><li>運用改訂日が近いにもかかわらず、具体的取扱いに関する訓練が遅い。「検討中」「答えられない」が多すぎだ！</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><b>吉川美南駅は設置の考えはない。</b>南船橋駅のトイレは洋式へと変更工事を行う。 <b>確認</b></li><li>庁舎は設備関係職場の所有となるため使用できないが、<b>緊急時は使用可能。</b>ただし、待機場所としては使用できない。 <b>確認</b></li><li>乗務員へは基本的な周知事項として「廃止」と伝える認識。<u>今日</u>、千葉支社から「緊急時は使用可」と<b>回答を得た。</b></li><li><u>意見は承った。</u>だが決定したことは交渉の場で伝えている。</li></ul>



# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.12.01

No.067



2024年11月25日開催

八地申  
第7号

## 2024年12月武蔵野線

詳報③

団体交渉

## 運用改訂に関する緊急申し入れ

4. 西船橋駅10番線の朝夕通勤時間帯の混雑時に府中本町方面に発車する際、カーブで見づらい状況にあるためITV設置と駅係員の乗降終了表示をさせること。

回答：必要に応じて、関係支社に要請を行っていく考えである

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>● 現状では問題ないという認識か？</li><li>● 千葉支社の社員が現状を動画撮影していた。八王子支社としては現状の改善を要請しないのか？</li><li>● 西船橋駅に要請すれば、乗降終了表示を掲出してくれるのか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ <b>そうだ。対立</b> 同時時間帯の混雑は会社としても認識しており、必要があれば関係支社に要請していく。</li><li>➢ <b>すぐに改善するとは言えない。</b>調整することがあるので、職場でも管理者に伝えてほしい。</li><li>➢ <b>そうだ。本当に乗降が見えないなら、駅に要請を。</b> <b>確認</b></li></ul>

5. 本線乗務員の休日出勤では足りず副長、指導担当、当務主務も乗務している状況にある。休日出勤ありきではなく、人間労働を尊重した適正な要員を配置すること。

回答：業務の運営に必要な要員は確保している。なお、管理者等が乗務することで、指導業務などに活かすことができ、安全・サービスレベルの向上や社員への乗務指導に資することを目的としている。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>● 本項目の現状認識は？</li><li>● 管理者が乗務するのは穴埋めではない、と言うのか？ 急きょ管理者が乗務することに対する会社の認識は？</li><li>● 当務主務や副長の乗務が常態化していることは深刻だというのが現場の肌感覚。当務主務が見習いを本区に置いて乗務に出て行ったケースがある。</li><li>● 副区長が当直だったが、車掌間で当たり前の用語が理解できていなかった。乗務員の業務に精通した人が当直をするべきだ。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ <b>具体的件数は把握していない。</b>休日出勤の現状は知得している。</li><li>➢ <b>穴埋めではなく、技能維持のためだ。</b>突発的なケースに対応頂いていることに感謝するが、<b>目的は穴埋めではない。</b> <b>対立</b></li><li>➢ <b>具体的事例は把握していない。</b>職場として穴埋めとみられる点は解消べきと考えている。</li><li>➢ <b>経歴多様な社員が当直業務に就くので、知らない用語も出てくる。そういう点があれば当直に教えてほしいが、業務そのものを知らない社員が当直業務に就くことはない。</b></li></ul>

**事象の解決は現場任せで、責任を持って対応しない  
会社の姿勢を厳しく指摘して団体交渉は終了！  
人間労働に基づく乗務業務は必要なことだ！**